

# 議会だより (臨時号)

訓子府町議会 平成26年 5月 1日

## 「議会報告会」を開催しました

### 町内2会場に町民46名が出席！！

4月10日・12日の2日間、日ノ出地区ふれあいセンターと公民館を会場に、「議会報告会」を開催いたしました。

出席された町民の方からの意見・要望などを紹介します。



### 4月10日(木)実施 【日ノ出地区ふれあいセンター】 25名出席

◆意見①：議員定数について、コンパクトな町政のため、削減も含めて議論してほしい。

意見②：本気で町をどうするか考える議員であり、報酬以上の働きをしてくれば10人、14人であっても多くはない。いろいろな考えの中で議論してほしい。

意見③：少なくなって、これだけの委員会をどう振り分けるのか。町民には予算が適正かはわからないため、議員がチェックするのが役目ではないか。

回答：議員定数・報酬については、これまでも議会活性化委員会にて数回議論してきました。議会が果たすべき役割についても議論しながら、今後も協議を続け12月までには結論を出したいと思います。

◆意見④：居武士小学校では、児童数が減少を続け「同級生」がいない学年もある。近隣市町村では統合していくところも多くあり、居武士小学校のこれからをどのように考えているか。

回答：保護者の方、地域の方、後援会の方

たちがどのような考えをもっているかが、最も重要と考えます。議会としても、地域での議論の推移を見守りたいと思います。

町に対しても、地域の声を尊重していくよう申し入れをいたします。

◆意見⑤：職員の労働環境について、夜間や休日の時間外勤務が目につくが、業務量などの課のバランスに問題はないか。

回答：休日の時間外については、振替で対応し、時間外手当の縮減に努めています。

町に対し、今後も職員の資質向上、育成を図るよう申し入れをいたします。

◆意見⑥：パークゴルフ場について、出入り口道路の拡張、もしくは西26号線の舗装整備。また、公認コースの申請、自動販売機の設置をお願いしたい。

回答：パークゴルフ協会と十分な協議を行うように教育委員会に申し入れをいたします。

◆意見⑦：若い人の雇用の場がない。人口減少についてどのような対策を考えていくのか。

回答：少しでも人口減少を止められるよう、いろいろなご意見をいただきながら、努力していきたいと思っております。



◆意見⑧：新しくなった、日本型直接支払制度について、地域の不満を受けることになっては、役員が大変ではないか。

意見⑨：自分たちで事務局を運営しなければいけないが、事業については、行政が公平に精査して進めてほしい。

回答：この制度の問題点や皆さんが心配されている点について、町へ問題提起をしていきたいと思えます。

◆意見⑩：教育委員会制度も変わることで、教育長や首長の権限が拡大されるようだが、教育への影響は。また、大学への進学率を上げ、一般教養を高めた子どもたちを育成し、できるだけ地元に戻ってもらえるよう、基金や融資制度をつくるなど思い切った取り組みを進めては。

回答：教育委員会制度改革には、さまざまな問題点も含んでいるため、今後とも状況を注視していきます。

補足：高校、短大、専門学校、大学の進学に関する町の奨学資金貸付制度があり、償還については、地元企業（自営を含む）に就職した場合は、50%の減免措置があります。

◆意見⑪：議会への要望などを全町民対象にアンケートを実施しては。

回答：今後も広く皆さんのご意見を聞いていきたいと思っています。

◆意見⑫：昨年の議会報告会で、消防団員が不足している問題についてお願いをした。

この度、新しく3名の団員が入団してくれたが、団員不足は解消されていないため、今後も協力をお願いしたい。

回答：議会としても一般質問で取り上げるなど取り組んできましたが、今後とも協力できるよう取り組んでいきます。

補足：平成26年は、これまで8名の入団者があり、現在の団員数は90名となっています。

◆意見⑬：町のホームページで行事などの情報発信をもっとしてほしい。内容をもっと充実させ、YouTube や facebook なども活用して若い人にも情報発信してほしい。

回答：ホームページの充実について、町へ申し入れをいたします。

◆意見⑭：街の中に行くところ（居場所）、休む場所などを作ってほしい。

回答：空き店舗対策の中で対応できるものがあればと考えています。

◆意見⑮：公営住宅について、北見からの申し込みも多いようなので、公営住宅を増やしてほしい。空き家をリフォームして公営住宅にすれば、新築よりも安価でできるのではないか。

回答：北見市では、民間が建てた住宅を借り上げるなどの施策をとっており、高齢者の住宅の問題も含め、いろいろな方法を勉強していきたいと思えます。



## 4月12日(土)実施 【公民館】 21名出席

◆**質疑①**：国民健康保険の赤字に驚いた。保険税の滞納状況や滞納している人の保険証の対応はどうなっているのか。

**回答**：平成24年度の国民健康保険税の収納率は、現年度分で98.4%、滞納繰越分で12.1%です。未納金額は合わせて3,200万円ほどあります。滞納している方には、保険証の代わりに短期証と資格証明書を発行します。

保険税の収納率は高い状況ですが、昨年の農業所得の減収により、今年度は税収が大きく減少する見込みです。

高齢化に伴い膨大な医療費を保険税ではまかないきれない状況です。

国の負担の在り方について、議会でも関係機関に要望していきたいと思います。

◆**質疑②**：太陽光発電システム導入事業補助について、今後も継続されるのか。

**回答**：町の補助は平成24年度から26年度までなので、それ以降については、今の段階ではわかりません。

◆**質疑③**：太陽光発電（ソーラーパネル）は固定資産税はかかるのか。

**回答**：担当者に確認します。

《確認の結果》ソーラーパネルが屋根材と一体になっている場合は、固定資産税の家の評価の対象となります。

屋根に置くタイプや地面に架台を付けて設置するタイプは、売電目的でないものは非課税です。

◆**質疑④**：特別養護老人ホーム「静寿園」の増床について、町の負担が大きいですが、国や道の補助金はないのか。

**回答**：国や道からの補助金は全くないそうです。町では実質負担が少なくてすむ過疎債をその財源に充てる予定です。



◆**質疑⑤**：今年度の訓子府高校の入学者数が19名だったが、これから訓子府高校を残すため、支援などの対策はどうするのか。

**回答**：町では、バスの定期代・入学準備金・資格取得費用・修学旅行費用の助成を行い、生徒確保の対策を講じていますが、来年に向けさらなる対策が必要であると考えています。

◆**質疑⑥**：訓子府高校の支援について、もっと宣伝が必要では。

**回答**：町に対して、もっとPRするよう申し入れをいたします。

◆**質疑⑦**：幼稚園・保育園の建設は、現在の場所に建てるのか。完成はいつ頃か。

**回答**：計画では、現在のグラウンドに幼稚園と保育園が一体となった施設を予定しており、その大きさは約2千㎡ほどです。開設予定は、平成28年4月です。

◆**質疑⑧**：訓子府町には待機児童はいないのか。

**回答**：訓子府町には待機児童はいません。

◆**質疑⑨**：駅周辺整備工事について、完成が27年度ということだが、完成前はイベントなどには使えないのか。もし完成すれば秋まつりや盆踊りに使用できるのか。

**回答**：整備が完了するまではイベントなどには使用できないと思いますが、完成後の使用については、関係団体と協議しながら進められると思います。

◆**質疑⑩**：駅周辺整備工事について、以前、医療用ヘリポートを整備すると聞いたが、その後はどうなったのか。

**回答**：ヘリポートは作らないとのこと。《回答の訂正》担当課に確認したところ、保有する資材などで町直営で整備するが、舗装整備は行わないとのことでした。

◆**質疑⑪**：「6次産業」とはどういうものか。

**回答**：1次産業が生産、2次産業が加工、3次産業が販売等ですが、この3つを足すということで6次産業と呼び、1次産業の生産者が加工・販売も総合的に行う形です。

◆**質疑⑫**：空き店舗対策で、商工会への補助も必要だが、商工会がリードして、現在は無い雑貨屋や百貨などを、一店もしくは共同で行い、サロンなども含めた施設はできないか。

**意見（商工会関係者）**：新たな出店には課題もあり、厳しい状況ではあるが、活用していただければと思う。また、既存店舗の改修やイベントなどで、少しでも賑わいを作っていきたいと考えている。

**回答**：あらたな補助事業であります、店舗出店等支援事業、店舗改修事業をぜひ活用していただきたいと思えます。

◆**意見⑬**：介護について、農協も何か取り組めないかということで、昨年からは講習や視察を行っているが、国からの補助もなく、農協だけではできない。行政や企業との連携が必要だと感じている。

他の町の施設を視察したが、経営面も含めて難しいと感じた。

**回答**：議会としても、農家のみなさんにとっても、介護は大きな問題であると考えています。農協・行政・企業がどのように連携できるか、議会も一緒になって勉強していききたいと思います。

◆**意見⑭**：図書館の整備については、町の財政状況、今後の人口を考えると、今の状況で新しい図書館を建設するのは無理じゃないか。福祉関係や高齢者、子どもたちへの今の支援がある程度効果がでて、安定するまでは考えない方がいいのではないか。

## 議会報告会お礼

これからの町づくりについて、町民の皆さまと議会がともに考えていくため、昨年に引き続き、「議会報告会」を4月10日・12日の2日間にわたり開催いたしました。

多くの町民の方々のご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

議会報告会の中で、町民の皆さまと議会とが意見交換をさせていただき、議員個々においてもさまざまな形で刺激を受けるとともに、全体でも議会の活性化に大きく貢献したと感じています。

皆さまからいただきましたご意見やご提言などについては、今後の議会活動の中で十分に議論を行い、町政に意見反映させていくこととし、また、その内容についても行政に伝えました。

次年度以降も引き続き開催してまいりますので、多くの方々のご出席をお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

訓子府町議会

議長 橋本 憲治

